

新保 幸男（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 新保幸男・小林理（2023）『児童家庭福祉』（中央法規出版）
- 2) 山縣文治・新保幸男（2024）『児童・家庭福祉』（全国社会福祉協議会）

2 学術論文

- 1) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（5）：こども基本法を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第1号、2～6頁、2023年4月
- 2) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（6）：データ連携を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第2号、27～31頁、2023年7月
- 3) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（7）：こども大綱を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第3号、36～40頁、2023年12月
- 4) 新保幸男（2024）「児童福祉学を見つめる視点（8）：生活困窮を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第4号、42～46頁、2024年3月

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会（代議員、査読委員）
- 2) 日本保健福祉学会（理事）
- 3) 日本子ども家庭福祉学会（監事、査読委員）
- 4) 日本キリスト教社会福祉学会（編集委員）
- 5) ヒューマンサービス学会（会員）
- 6) 神奈川県「子ども・若者施策審議会」（会長）
- 7) 神奈川県「子ども・子育て支援推進協議会」（会長）
- 8) 神奈川県「アドボカシーセンター（仮）設置準備検討会」（座長）
- 9) こども家庭庁「こども家庭審議会」（委員）
- 10) こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの貧困・ひとり親家庭支援部会」（部会長）
- 11) こども家庭庁「こども家庭審議会 基本政策部会」（委員）
- 12) こども家庭庁「こどもデータ連携ガイドライン検討委員会」（座長）
- 13) こども家庭庁「ひとり親家庭支援における相談対応事例集検討会」（座長）
- 14) こども家庭庁「ひとり親家庭等自立促進基盤事業評価委員会」（委員長）
- 15) こども家庭庁「はたらく母子家庭・父子家庭応援企業等の表彰審査委員会」（委員長）
- 16) こども家庭庁「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業審査委員会」（委員長）
- 17) こども家庭庁「養育費・面会交流相談支援センター事業に係る技術提案書評価委員会」（委員長）
- 18) 東京都「児童福祉審議会」（副委員長）
- 19) 横浜市「就学奨励対策審議会」（委員）
- 20) 市原市「子ども・若者の貧困対策」（アドバイザー）
- 21) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』（査読委員）
- 22) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会「苦情解決調整委員会」（委員）
- 23) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」（委員長）

- 24) 公益財団法人児童育成協会「事業譲渡審査委員会」(委員長)
- 25) 財団法人養育費相談支援センター「運営会議」(委員)
- 26) 社会福祉法人横須賀基督教社会館「評議員会」(評議員)

5 社会貢献

- 1) 「ソフトバンク 5G コンソーシアム」(会員)として社会インフラについて関連業界の方々との交流を行っている。
- 2) 「三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ」(会員)として未来共創について関連業界の方々との交流を行っている。
- 3) 神奈川県「黒岩知事と県民との対話の広場」での事例報告をした、2023年10月23日
- 4) オープンキャンパスで、学科長挨拶をおこなうと共に受験生などからの相談に応じた。
- 5) ミニオープンキャンパスで、学科長挨拶をおこなうと共に受験生などからの相談に応じた。
- 6) 「夢ナビ」で(ミニ講義)「こども 社会福祉学 ヒューマンサービス」を実施した。
- 7) 「夢ナビ」で(夢ナビライブ)として高校生との対話の時間を2回持った。
- 8) 神奈川県保育会との交流を行った。
- 9) 東京都庁との間で、「子供の権利擁護」についての意見交換を行った。
- 10) 神奈川県庁との間で、「子どもの権利擁護」について意見交換を行った。
- 11) 神奈川県庁との間で、「子どもの貧困対策」について意見交換を行った。

6 講演, 放送

- 1) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講義「児童家庭福祉」を3回おこなった
- 2) 東京都 社会的養護専門職スーパーバイザー研修において、「チームリーダーとスーパービジョン」の講師をつとめた。2024年1月15日
- 3) こども食堂にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 4) 児童虐待に関することについて、報道機関からの取材に応じた。
- 5) こどもの貧困対策にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。

7 学会等での活動

- 1) 打越友実・小林理・赤木拓人・新保幸男(2023)「ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究: Dual relationship に関する文献に着目して」 日本社会福祉学会第71回秋季大会、武蔵野大学、2023年10月14日
- 2) 新保幸男・高橋かすみ・二宮和康・古山智・打越友実・小林理(2024)「こども基本計画とヒューマンサービスに関する研究」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日
- 3) 小林理・打越友実・新保幸男(2024)「社会的養護における人材育成についての研究動向(1): 施設専門職についての先行研究の動向を中心として」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日
- 4) 打越友実・小林理・新保幸男(2024)「ソーシャルワークの『最善の利益』と『beneficence』についての一考察」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日

日

- 5) 古山智・高橋かすみ・二宮和康・新保幸男 (2024) 「福祉型障害児入所施設の社会的養護機能の現状に関する研究」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 6) 高橋かすみ・二宮和康・古山智・新保幸男 (2024) 「児童相談所における人材育成の課題：先行研究及び公表資料・データの分析を通して」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 7) 二宮和康・高橋かすみ・古山智・新保幸男 (2024) 「社会的養護にある子どもの自立に福祉型障害児入所施設の社会的養護機能の現状に関する研究」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 8) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 少子化問題を理解する基盤」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 4 月 10 日
- 9) 新保幸男 (2023) 「ひとり親家庭支援とこども家庭データ連携」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』26～38 頁、2023 年 4 月 10 日
- 10) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (10)」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』39 頁、2023 年 4 月 10 日
- 11) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 第 1 回こども家庭審議会で感じたこと」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』2 頁、2023 年 4 月 24 日
- 12) 新保幸男 (2023) 「人口減少に関する検討」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』25～33 頁、2023 年 4 月 24 日
- 13) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (11)」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』34 頁、2023 年 4 月 24 日
- 14) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 新型コロナ感染拡大期における生活の変化」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』2～8 頁、2023 年 5 月 8 日
- 15) 松田萌加・板垣勇祐・長谷川一真・前原諒・水島遙・横田理沙・新保幸男 (2023) 「新型コロナウイルス感染症流行前後における生活様式の変化と児童福祉」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』9～11 頁、2023 年 5 月 8 日
- 16) 新保幸男 (2023) 「こども家庭データ連携事業についての検討 (2)」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』32 頁、2023 年 5 月 8 日
- 17) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (12)」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』33 頁、2023 年 5 月 8 日
- 18) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (1)」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 5 月 29 日
- 19) 新保幸男 (2023) 「リプロダクティブヘルスの視点とこども大綱」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』32～33 頁、2023 年 5 月 8 日
- 20) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (13)」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』34 頁、2023 年 5 月 29 日
- 21) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (2)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 6 月 12 日
- 22) 新保幸男 (2023) 「リプロダクティブヘルスの視点とこども大綱 (2)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』20～23 頁、2023 年 6 月 12 日

- 23) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (14)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』24 頁、2023 年 6 月 12 日
- 24) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (3)」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』2～4 頁、2023 年 6 月 26 日
- 25) 新保幸男 (2023) 「『こども大綱』の構成要素に関する研究」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』41 頁、2023 年 6 月 26 日
- 26) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (15)」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 6 月 26 日
- 27) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (4)」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 7 月 10 日
- 28) 新保幸男 (2023) 「『こども大綱』と『こども・若者の自己決定』に関する研究」の構成要素に関する研究」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』60～62 頁、2023 年 7 月 10 日
- 29) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (16)」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 7 月 10 日
- 30) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (5)」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 7 月 24 日
- 31) 新保幸男 (2023) 「『乳幼児期までのこどもの育ち』に関する研究」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』47～48 頁、2023 年 7 月 24 日
- 32) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (17)」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 7 月 24 日
- 33) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (6)」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 8 月 14 日
- 34) 新保幸男 (2023) 「『子どもの居場所としてのシェルター』に関する研究」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』63～64 頁、2023 年 8 月 14 日
- 35) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (18)」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』65 頁、2023 年 8 月 14 日
- 36) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (7)」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 8 月 28 日
- 37) 新保幸男 (2023) 「21 年目に入った社会福祉学科の現状と今後の課題」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』48～53 頁、2023 年 8 月 28 日
- 38) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (19)」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』54 頁、2023 年 8 月 28 日
- 39) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (8)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 9 月 11 日
- 40) 新保幸男 (2023) 「こども大綱で用いられる基本的な用語 (9 月 11 日現在)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』53 頁、2023 年 9 月 11 日
- 41) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (20)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』54 頁、2023 年 9 月 11 日
- 42) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (9)」『福祉学研究会第 56 回学術集会要旨集』2 頁、2023 年 9 月 25 日

- 43) 新保幸男 (2023) 「こども大綱で用いられる基本的な用語 (9月25日現在)」『福祉学研究会第56回学術集会要旨集』53頁、2023年9月25日
- 44) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (21)」『福祉学研究会第56回学術集会要旨集』54頁、2023年9月25日
- 45) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども大綱 (中間整理案、やさしい版、2023年9月25日) について」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』2頁、2023年10月9日
- 46) 新保幸男 (2023) 「権利の主体としてのこども・若者: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』53頁、2023年10月9日
- 47) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・古山智 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (22)」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』54頁、2023年10月9日
- 48) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもまんなか社会に向けての論点」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』2～10頁、2023年10月23日
- 49) 新保幸男 (2023) 「こども・若者、子育て当事者の視点を尊重: こども大綱権利の主体としてのこども・若者: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』50～51頁、2023年10月23日
- 50) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (23)」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』52頁、2023年10月23日
- 51) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども政策の方向性: 過去と未来」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』2～7頁、2023年11月13日
- 52) 新保幸男 (2023) 「こども・若者、子育て当事者のライフステージに応じた対応: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』50～51頁、2023年11月33日
- 53) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (24)」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』52頁、2023年11月13日
- 54) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 福祉実践と子どもの才能」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』2～7頁、2023年11月27日
- 55) 新保幸男 (2023) 「良好な生育環境を確保し、貧困や格差の解消を図るために: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』22～23頁、2023年11月27日
- 56) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (25)」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』24頁、2023年11月27日
- 57) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもの最善の利益と自己決定」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』2～19頁、2023年12月11日
- 58) 新保幸男 (2023) 「若い世代の生活の基盤の安定について: こども大綱 (答申、2023年12月1日) を中心として」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』40～41頁、2023年12月11日
- 59) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (26)」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』24頁、2023年12月11日
- 60) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 児童扶養手当制度: 令和6年度改正」『福祉学研究会第62

回学術集会要旨集』2～4頁、2023年12月25日

- 61) 新保幸男 (2023) 「施策の総合性・連携について：こども大綱 (2023年12月22日) を中心として」『福祉学研究会第62回学術集会要旨集』229～230頁、2023年12月25日
- 62) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (26)」『福祉学研究会第62回学術集会要旨集』24頁、2023年12月25日
- 63) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』2～8頁、2024年1月9日
- 64) 新保幸男 (2024) 「都道府県こども計画について：こども基本法第10条を中心として」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』57頁、2024年1月9日
- 65) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・古山智 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (28)」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』24頁、2024年1月9日
- 66) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (2)」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』2～6頁、2024年1月22日
- 67) 新保幸男 (2024) 「都道府県こども計画について (2)：こども基本法第10条第4項を中心として」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』133～136頁、2024年1月22日
- 68) 新保幸男・小林理・菅井敏行・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (29)」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』24頁、2024年1月22日
- 69) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (3)」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』2～10頁、2024年2月12日
- 70) 新保幸男・高橋かすみ・二宮和康・古山智・打越友実・小林理 (2024) 「こども基本計画とヒューマンサービスに関する検討」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』18頁、2024年2月12日
- 71) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・二宮和康・古山智 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (30)」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』19頁、2024年2月12日
- 72) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (4)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』2～6頁、2024年2月26日
- 73) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (1)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』45頁、2024年2月26日
- 74) 新保幸男・小林理・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (31)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』46頁、2024年2月26日
- 75) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) こども・若者、子育て当事者等の意見の例」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』2～5頁、2024年3月11日
- 76) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (2)」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』51頁、2024年3月11日
- 77) 新保幸男・小林理・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (32)」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』46頁、2024年3月11日
- 78) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) こども・若者、子育て当事者等の意見の例 (2)」『福祉学研究会第68回学術集会要旨集』2～36頁、2024年3月25日
- 79) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (3)」『福祉学研究会第

68 回学術集会要旨集』46 頁、2024 年 3 月 25 日

- 80) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・二宮和康・古山智・池田竜黄 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (33)」『福祉学研究会第 68 回学術集会要旨集』47 頁、2024 年 3 月 25 日

8 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程の大学院生 3 名の研究指導を担当した。
- 2) 大学院博士後期課程で栄養学系の大学院生 1 名の研究指導補助を担当した。
- 3) 大学院博士後期課程でリハビリテーション系の大学院生 1 名の研究指導補助を担当した。
- 4) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文審査会において主査をつとめた。
- 5) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文審査会において副査をつとめた。
- 6) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文予備審査会において主査をつとめた。
- 7) 大学院博士後期課程の大学院生 2 名の博士論文予備審査会において副査をつとめた。
- 8) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文研究計画審査会において副査をつとめた。
- 9) 大学院博士後期課程「児童福祉学特論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。他系の後期課程院生 2 名も参加してくれました。
- 10) 大学院博士後期課程「児童福祉学演習」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 11) 大学院博士前期課程の大学院生 3 名の研究指導を担当した。
- 12) 大学院博士前期課程「社会福祉原論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 13) 大学院博士前期課程「ヒューマンサービス特論」のうち 1 回の授業を担当した。
- 14) 学部 4 年次の象徴科目「ヒューマンサービス論Ⅱ」の科目責任者として、授業 8 回のうち 7 回を担当した。学生から提出される「リアクションペーパー」の内容を大切に授業運営を行っている。特に、各学生が学部 4 年間で体験してきた実習の内容を共有しやすいように工夫することで、他の専門についての認識力を相互に得やすい状況を作るように取り組んでいる。
- 15) 学部 4 年次「卒業論文」指導において 5 名のゼミ生への指導を行った。
- 16) 学部 4 年次「社会福祉専門演習Ⅱ」において 6 名のゼミ生への指導を行った。
- 17) 学部 3 年次「社会福祉専門演習Ⅰ」において 6 名のゼミ生への指導を行った。
- 18) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習Ⅱ」において 6 名の学生を担当した。
- 19) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」において 6 名の学生を指導した。神奈川県内の児童相談所 5 ヶ所、児童自立支援施設 1 ヶ所で学生がそれぞれ実習をさせていただいた。
- 20) 学部 2 年次の必修科目「児童福祉論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 21) 学部 2 年次の必修科目「ソーシャルワーク実習Ⅰ」において、実習前の事前指導及び実習中の指導を担当した。初めての実習となる学生との対話を大切にしながら実習指導を行った。
- 22) 学科で実施している社会福祉士国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と

児童・家庭福祉制度」を担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長
- 2) 教育研究審議会（委員）
- 3) 学長補佐会議（委員）
- 4) 総務・企画委員会（委員）
- 5) 学科長会議（委員）
- 6) アドミッションセンター運営会議（委員）
- 7) 内部質保証推進部会（委員）
- 8) COI（利益相反）委員会（委員）
- 9) 開学 20 周年記念事業企画会議（委員）
- 10) 昇任審査委員会(委員)
- 11) 教員採用面接（委員長）2 件
- 12) 教員採用面接（委員）2 件
- 13) 社会福祉学科人事小委員会（委員長）
- 14) 社会福祉学科実習委員会（責任者）
- 15) 社会福祉学科 SNS（管理者）
- 16) ソーシャルワーク実習担当者会議（担当者）
- 17) ヒューマンサービス担当者会議（「ヒューマンサービス論Ⅱ」科目責任者として出席）

高橋 恭子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 高橋恭子（2024）「第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、67-74.
- 2) 高橋恭子（2024）「第4章第1節 ソーシャルワーク前史」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、140-152.

2 論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子(2023)「多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～」『保健医療福祉連携』17(1), 2-13.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 2) 日本社会福祉学会、機関誌『社会福祉学』査読委員.
- 3) 日本保健医療社会福祉学会、学会誌『保健医療社会福祉研究』査読委員.
- 4) 日本医療ソーシャルワーカー協会、保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修担当チームチームリーダー.
- 5) 日本医療ソーシャルワーカー協会、第20期保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修講師.
- 6) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、実習指導委員会委員.
- 7) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、神奈川県病院協会協働「身寄りのない人への支援に関する実態調査」プロジェクトチームメンバー.

5 社会貢献

- 1) 系統別説明会（福祉学）、神奈川県立藤沢西高等学校、2024.3.
- 2) オープンキャンパス相談担当、2023.8.
- 3) ミニオープンキャンパス相談担当、2024.3.
- 4) 性暴力対応ネットワーク StaRT かながわ事務局長.
- 5) KSW の会スーパーバイザー.

6 講演, 放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育（社会福祉士実習指導者講習会）「ソーシャルワークの本質としてのヒューマンサービスの理解」、2023.6.
- 2) ソーシャルワークの視点をもった教員の養成研修講座「ヒューマンサービス論・ソーシャルワーク論」神奈川県教育委員会、2023.7.

7 学会等での活動

- 1) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. 「多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果:パイロットスタディ」第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp. 15-16), 神奈川県. 2023. 11.

8 学内教育活動

- 1) 学生サークル「バスケットボール部」顧問.
- 2) 学部担当科目「医療福祉論」「社会福祉の歴史」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅲ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」「社会福祉専門実習」.
- 3) 大学院担当科目 「ソーシャルワーク特論Ⅳ」「ヒューマンサービス特論・演習」「社会福祉特別演習」「社会福祉学特別研究」「がん看護学特論Ⅳ」「医療社会福祉実践・政策特論」「医療社会福祉実践・政策演習」「保健福祉学特別研究」.
- 4) 大学院修士論文主査1名、博士論文主査1名.
- 5) 国家試験対策講座担当科目「保健医療サービス」.
- 6) 実践教育センター担当科目「社会福祉学」.

9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスセンター長.
- 2) 教育研究審議会委員.
- 3) 学長補佐会議委員.
- 4) 研究科運営会議委員.
- 5) 研究科カリキュラム等検討委員会委員.

玉川 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.

3 その他の著作

- 1) 高橋弘枝, 玉川 淳, 野村仁美, 吉川久美子「座談会『看護職の生涯学習ガイドライン』公表」, 日本看護協会 協会ニュース, Vol.666, 3-4.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 理事. 2023.3～
- 2) 日本看護協会日本看護サミット 2023 実行委員会委員. 2023.1～2024.3
- 3) 横須賀市児童福祉審議会委員 (子ども育成分科会会長). 2020.4～
- 4) 横須賀市社会福祉審議会委員 (福祉専門分科会会長). 2022.4～
- 5) 逗子市地域包括ケア会議アドバイザー. 2023.7～
- 6) 社会福祉振興・試験センター介護支援専門員実務研修受講試験委員会委員 (幹事委員). 2020.4～

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス. 個別相談. 2023.8.5
- 2) ミニオープンキャンパス. 個別相談. 2024.3.26

6 講演, 放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育 (社会福祉士実習指導者講習会)「実習マネジメント論」 2023.6.29

7 学会等での活動

- 1) 玉川淳. 介護保険と地方公共団体. 北海道社会保障法研究会, 研究報告. 2024.1.27. 札幌市
- 2) 玉川淳. 介護保険と地方公共団体. 関西社会保障法研究会, 研究報告. 2024.3.9. 大阪市
- 3) 基調講演「つながりの持てる社会づくりー社会的孤立の実態と伴走型支援」. ヒューマンサービス学会第1回学術集会, 座長. 2023.11.5. 横須賀市

8 学内教育活動

- 1) 学部
人権・ジェンダー, 地域保健医療福祉連携論, ヒューマンサービス総合演習 (2023年度より検討事例を電子カルテ端末を通じて提示), 保健福祉行政論、地域福祉論 (分担),

社会福祉専門演習Ⅰ，社会福祉専門演習Ⅱ，卒業研究

2) 大学院

ヒューマンサービス特論・演習，人事管理・育成論，保健福祉行政特論（分担），ヒューマンサービス特論（SHI）

3) 社会福祉士国家試験対策講座，福祉行財政．2023.12.14

4) 公務員受験講座，公務員となるためには．2023.5.11

9 学内各種委員会活動

1) 人権・倫理委員会，2021.4～

2) ヒューマンサービスセンターヒューマンサービスパーチ，2021.4～

中村 美安子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) 中村美安子、大原一興、藤岡泰寛 (2024). 「空き家活用のすすめ-住民の活動拠点を空き家活用で-」. (JSPS 科研費 JP19K02269 の研究成果). 神奈川県立保健福祉大学機関リポジトリ (<https://kuhs.repo.nii.ac.jp/records/2000052>). 2024.2

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局. 社会福祉推進事業評価委員会委員 (2023.6～委員長). 2011.9～
- 2) 厚生労働省社会・援護局地域福祉課. ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修・広報一式に係る技術審査委員 2023.3～
- 3) 厚生労働省. 老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業所の支援の在り方に関する調査事業」委員 2023.7～2024.3
- 4) 厚生労働省高齢者雇用対策課. 生涯現役地域づくり普及促進事業有識者委員会 委員 2023.8～2024.3
- 5) 神奈川県. 神奈川県地域福祉支援計画評価・推進等委員会委員. 2023.9～
- 6) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議副委員長. 2013.7.～
- 7) 横浜市. 介護保険運営協議会委員. 2018.8～
- 8) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議小委員会副委員長. 2022.3～
- 9) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議専門委員会委員 2023.3～
- 10) 横浜市. よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営選定等委員会委員. 2021.6～
- 11) 川崎市「民生委員児童委員活動の見える化」に向けたアドバイザー 2023.8～2024.3
- 12) (福) 全国社会福祉協議会. 全国民生委員児童委員連合会地域福祉推進部会委員. 2011.5～
- 13) (福) 全国社会福祉協議会. 全国民生委員児童委員連合会市区町村民生委員児童委員協議会・法定単位民生委員児童委員協議会活動実態調査準備委員会委員. 2022.3～
- 14) (福) 全国社会福祉協議会. 全国民生委員児童委員連合会地域福祉推進部会活動記録区分等見直し作業委員会委員長 2023.12～
- 15) (福) 横須賀市社会福祉協議会. 日常生活自立支援事業審査会委員. 2013.4～2024.3
- 16) (福) 大和市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画推進委員会委員. 2013.9～
- 17) (福) 狛江市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画策定委員会副委員長. 2016.6.～
- 18) (福) 狛江市社会福祉協議会. コミュニティサーチャルワークアドバイザー. 2018.4～
- 19) (福) 神奈川県社会福祉協議会. 神奈川県民生委員児童委員協議会総合企画委員会委員. 2020.11～
- 20) (福) 横浜市福祉サービス協会. 理事 2019.6～
- 21) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス学会編集委員 2023.7～

5. 社会貢献

- 1) 実践教育センター主催. 教員・教育担当者養成課程介護コースにおいて社会福祉学の講義を担当した。2023.6

- 2) 社会福祉学科主催. 実習指導者講習会において、実習概論の講師を担当した。2023.6
- 3) オープンキャンパスにおいて相談を担当した。2023.8
- 4) 社会福祉学科広報用 DVD 作成メンバーとして教室・施設紹介映像の制作を担当した。

6 講演, 放送

- 1) 国際協力機構主催. チリ高齢者地域ケアプロジェクト遠隔研修においてチリ SENAMA 市の幹部、市担当者、地域リーダーほかを対象に、「日本の住民参加型地域ケア」をテーマに講義した。2023.4
- 2) 国際協力機構主催. 地理国別研修「高齢者ケアのための地域モデル形成支援：ケアするコミュニティプロジェクト」において、視察先のアレンジ、活動に関する講義、現地への同行を担った。2023.8
- 3) 国際協力機構主催. 課題別研修「高齢化社会の政策と実践：地域における高齢者包摂の推進」において、バングラディシュ、ブラジルほか 8 か国の参加者を対象に、日本の住民参加型の地域ケアについて講義した。2023.11
- 4) 福井県民生委員児童委員協議会主催. 福井県民生委員児童委員セミナーにおいて地域共生社会の実現に向けた民生委員児童委員活動をテーマに講義した。2023・8
- 5) 神奈川県民生児童委員協議会主催. 地域版活動強化方策策定支援研修会において。講義とグループディスカッションの助言、総括を行った。2023.11
- 6) 神奈川県、横須賀市主催. 民生委員児童委員研修事業「テーマ別研修 I」において、「『災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針』の理解」をテーマに講義を行った。また、事例報告に対し総括コメントをした。2024.1
- 7) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事春期コース第 3 集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.6
- 8) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事春期コース第 6 回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.7
- 9) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事春期コース第 8 回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.8
- 10) 相模原市社会福祉協議会主催. CSW 全体研修において「社会福祉協議会の存在意義から捉える CSW の役割と期待」をテーマに講義した。2023.12

8 学内教育活動

- 1) 令和 5 年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」の国家試験対策資料作成及び講師

9 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会 委員長 2021.4～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究代表者. 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. 住民福祉活動拠点の確保における空き家活用方策に関する研究. 平成 31 年度～令和 6 年度. 338 万円. 2019.4～2025.3.

- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究協力者. 藤岡泰寛, 大原一興, 田中 稲子, 野原 卓. 異世代シェア型地域居住モデル構築を通じた郊外住宅地の介護予防力向上に関する研究. 平成 31 年度～令和 5 年度. 500 万円. 2019.4～2024.3.

14 その他

- 1) 全国民生委員児童委員連合会 (2023.5). 災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針改訂第 4 版
- 2) (福) 狛江市社会福祉協議会 (2024.3). 第 4 次狛江市地域福祉活動計画書
- 3) 横浜市 (2024.3), 横浜市福祉のまちづくり啓発リーフレット (みんなちがってあたりまえ (小学生向け))

西村 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 西村淳編著(2024)『社会福祉（健康支援と社会保障制度③・新体系看護学全書）』メヂカルフレンド社、2024
- 2) 西村淳他編著(2024)『社会保障論（社会福祉学習双書 2024⑥）』全国社会福祉協議会

2 学術論文

- 1) 西村淳(2023)「地域における高齢者の資産管理支援—信託と地域連携ネットワーク・金融機関の役割に着目して」『年金と経済』Vol.42. No.1、2023年4月
- 2) 西村淳(2023)「2022年度学界回顧と展望：社会保障・社会福祉政策部門」『社会福祉学』第64巻第3号、2023年11月
- 3) 西村淳(2023)「ソーシャルワークの法的規律—日本との比較におけるイギリス法の特徴」『社会保障法』第39号、2023年12月

3 その他の著作

- 1) 西村淳「新たな局面に対応した年金改正の議論」『週刊社会保障』No.3218、2023年5月
- 2) 西村淳「地域での支え合い」をどう進めるか」『週刊社会保障』No.3227、2023年7月
- 3) 西村淳「社会福祉士の役割と養成」『厚生指標』2023年7月号
- 4) 西村淳「公的年金制度の課題と将来」『週刊社会保障』No.3231、2023年8月
- 5) 西村淳「社会保障を考える論理としてのケアの倫理—給付から生活支援へ」『週刊社会保障』No.3237、2023年10月
- 6) 西村淳「ITに振り回される生活？」『厚生指標』2023年11月号
- 7) 西村淳「医療供給政策の中長期的動向—コロナ禍も踏まえて」『週刊社会保障』No.3246、2023年12月
- 8) 西村淳「日本の老年期？」『厚生指標』2024年3月号

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会理事（通年）
- 2) 横浜市国民健康保険運営協議会委員（会長、通年）
- 3) 横須賀市人権施策推進会議委員（委員長、通年）
- 4) 横須賀市社会福祉審議会委員（高齢福祉専門分科会長、通年）
- 5) 社会福祉士および精神保健福祉士試験委員（通年）
- 6) 『年金と経済』編集委員（通年）
- 7) 北海道大学公共政策学研究センター研究員（通年）

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス（2023年8月）
- 2) 「横須賀市における地域ケアのあり方—地域包括ケアシステムと社会的処方」社会的処方学習会、横須賀の2040年を考える会、2024年1月
- 3) 「介護保険の活用方法と横須賀市の地域資源」馬堀台団地お助け隊・友愛桜寿会、2024

年 3 月

6 講演, 放送

- 1) 「年金保険制度」「医療保険制度」「介護保険制度」神奈川県労働大学、2023年11月
- 2) 「若い世代に理解される年金制度とは？」北海道大学公共政策大学院、2023年11月

7 学会等での活動

- 1) 「相談援助の専門性・資格・教育と実践の関係について」第30回がじゅまる研究会、2023年4月
- 2) 「ソーシャルワークの法的規律—日本との比較におけるイギリス法の特徴」日本社会保障法学会第78回大会、2023年5月（神奈川県立保健福祉大学で開催）
- 3) 「参加・貢献支援の社会保障法」九州社会保障法研究会、2023年5月
- 4) 「参加・貢献支援の社会保障法」東京社会保障法研究会、2023年7月
- 5) 「参加・貢献支援の社会保障法」北海道社会保障法研究会、2023年7月
- 6) 「社会保障における参加・貢献支援」学内研究発表会、2023年8月
- 7) 「障害年金の支分権の消滅時効について（木戸報告へのコメント）」日本年金学会第43回大会、2023年10月
- 8) 「ケアの倫理と社会保障法—法的思考・医学的思考・ケア的思考」日本医療・病院管理学会第61回学術総会、2023年11月
- 9) 「参加・貢献支援の社会保障法」関西社会保障法研究会、2023年11月

8 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当：「保健医療福祉論Ⅱ」・「法と人間」・「社会福祉の法と制度」・「福祉の哲学」
- 2) 学部の演習担当：「社会福祉専門演習Ⅰ」・「社会福祉専門演習Ⅱ」
- 3) 卒業研究指導（学部）6名
- 4) 大学院保健福祉学研究科の講義担当：「保健福祉行政特論」「保健福祉人材育成論」
- 5) 院生指導教員（修士課程3名・博士課程1名）

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会（副委員長）通年

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科研費補助金（基盤研究B）「ソーシャルワークの法理論の構築—支援関係を軸とした社会保障法学の再構成」（研究代表者）
- 2) 科研費補助金（基盤研究A）「財産権論の再構成に関する学際的研究—シェア・ライセンス・コモンズ」（研究分担者）
- 3) 科研費補助金（基盤研究C）「外国人介護労働者の定着に関する研究—年金・医療を中心とする社会保障に焦点を当てて」（研究分担者）

12 受賞

1) 第1回中村丁次アワード(2024年3月)

山本 恵子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 『日英の孤独対策』共編著 共編者 山本隆、山本恵子、共著者 山本恵子、山本耕平他
●8章「英国の孤独政策の検証」p.121～133 ●9章「英国の孤独政策の実践事例」
p.134～150 2024年3月 光生館

2 学術論文

- 1) 単著「高齢者貧困とフレイル層の生活支援に関する調査研究」『ローカルガバナンス研究』
第3号 p.2～8

5 社会貢献

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長、葉山町地域包括支援センター運営協議会
会長を務めた。

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員を担当した。
- 2) 研究助成部会会長を担当した。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究 c)「都市における低所得高齢者のための包摂型地域包括ケア
のプログラム開発」研究代表者 3年目

行實 志都子（大学院福祉学研究科兼務）

3. その他

2023年度日本財団助成事業「子どもと家族の相談窓口」事業の実施と精神保健福祉士が行う子ども家庭支援の効果検証に関する調査研究（covid19）報告書

4 学会，協会，公的団体の委員など

【学会】

1) 日本職業リハビリテーション学会 理事 2023.4～現在

【協会】

1) 一般社団法人 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～現在

2) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 理事 2020.6～現在

【公的団体】

1) 埼玉県ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 2008.4.1～現在

2) 埼玉県三芳町自立支援協議会 会長 2010.4.1～現在

3) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 2016.4.1～現在

4) 横浜市精神医療審査会 予備委員 2018. 4～現在

5) 川崎市指定管理者選定委員会 委員 2018. 4～現在

6) 川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞選考委員会 委員 2019.4～現在

7) 川崎市第5次かわさきノーマライゼーション策定委員会 委員 2022.4～現在

8) 渋谷区医療的ケア児支援関係機関協議会 会長 2021.1～現在

9) 横須賀市ひきこもり支援委員会 委員長 2022.11～

10) 鎌倉市障害者二千人雇用推進協議会 委員長 2022.12～

【福祉法人等】

1) 社会福祉法人結の会オフィスクローバー 理事 2013.1.1～現在

2) かながわ福祉サービス運営適正委員会 委員 2016. 4～現在

3) かながわ福祉サービス苦情解決委員会 委員 2016.4～現在

4) 精神保健福祉士国家試験委員 2020.4～現在

5) 横浜市社会事業協会 理事 2023.5～現在

5 社会貢献

1) オープンキャンパス 夏のオープンキャンパスとミニオープンキャンパスを担当する

2) 大学説明会並びに高校訪問に出席 計9か所

3) 神奈川県精神保健福祉士協会 三浦・横須賀支部を担当理事として運営し、三浦・横須賀地域の精神保健福祉士の連携を図る

6 講演，放送

1) 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 演習担当教員講習会 研修 2023.8 開催

2) 神奈川県社会福祉協議会主催，かながわライフサポート事業コミュニティソーシャルワーカーの養成研修 講師 2023.8

- 3) かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク主催 神奈川県委託事業 専門コース別研修「精神障害者支援の障がい特性の支援技法」講師 2023.9 開催
- 4) 川崎市中部地域生活支援センターはるかぜ主催 ピアサポート研修 講師 2023.11 開催
- 5) 小田原市主催, 小田原市精神障がい者ピアサポート事業研修会 講師, 2024.1 開催

7 学会等での活動

- 1) 日本職業リハビリテーション学会 第50回かながわ大会 事務局長 2023.8
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 子ども・若者支援 分科会座長

8 学内教育活動

- 1) 精神保健福祉士養成課程コース、コース長 2020.4～現在
- 2) 大学院前期課程での指導 2013.4～現在

9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2021.4～2024.3.31
- 2) アドミッションセンター 入試広報 2023.4.1～2024.3.31
- 3) アドミッションセンター 入試分析予測及び評価提案部門 2023.4.1～2024.4.1

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費 若手研究 22K13500 「ピアサポートによる精神障害者のキャリアデザイン開発—当事者性を活かして— 2022.4～

在 原 理 恵（大学院保健福祉研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 在原理恵（2023）「グループホームでのアルバイト経験で感じていること」『季刊グループホーム』78号,16-17
- 2) 水戸孝幸, 山口明美, 在原理恵（2023）「『グループホームスタッフのための援助のポイント』活用方法」『季刊グループホーム』79号,4-5

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員（2010.6～）
- 2) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長（2014.4～）
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 委員長（2018.4～）
- 4) 神奈川県障害者施策審議会委員（2016.6～）
- 5) 神奈川県障害者介護給付費等不服審査会 会長（2019.4～）
- 6) 神奈川県地域生活移行推進民間提案事業評価委員（2023.8～）

5 社会貢献

- 1) 夢ナビ研究室の開催（2023.7.15）
- 2) 高校生向け出張講座 県立平塚中等教育学校（2023.9.14）
- 3) 高校生向け出張講座 県立保土ヶ谷高等学校（2023.12.11）
- 4) 学科の特徴や入試関連の説明のための高校訪問
- 5) オープンキャンパス学科説明担当（2023.8.8）
- 6) 社会福祉学科ミニオープンキャンパス個別相談担当（2024.3.26）
- 7) 神奈川県障害サービス課が実施した県域の障害者グループホームの実態調査への助言

6 講演, 放送

- 1) 障害者グループホーム第三者評価 評価調査者フォローアップ研修会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構）, 講師（2023.6.6）
- 2) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 令和 4 年度 評価調査者認定研修, 講師（2023.6.12）
- 3) 第 1 回黒岩知事と当事者とのオンライン対話（テーマ「当事者目線の障害福祉」）登壇（2023.7.12）

7 学会等での活動

- 1) 日本職業リハビリテーション学会第 50 回かながわ大会実行委員会委員, 大会事務局

8 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座担当科目「社会調査の基礎」

9 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD 委員
- 2) 研究科入試委員（自己評価専門部会委員）

石井 忍 (大学院保健福祉学研究科兼務)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1)神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2)横浜市西区野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～
- 3)横浜市西区地域ケアプラザ指定管理者選考委員会 委員長 2019.12～

5 社会貢献

- 1)社会福祉法人 三育福社会 シャローム浦上台 第三者委員. 2010.4～
- 2) 学科オープンキャンパス.2023.8

7 学会等での活動

- 1)日本介護福祉士会，専門誌「介護福祉士」論文査読委員. 2020. 10～

大島 憲子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 筒井 孝子, 石川 誠, 大島憲子, 他 (2023) 『介護プロフェッショナルキャリア段位制度 評価者 [アセッサー] 講習用テキスト』シルバーサービス振興会.

2 学術論文

- 1) 藤澤 晴香, 大島 憲子 (2024) 『特別養護老人ホームで働く介護職員の看取りケアに関する認識や役割への自覚 一看取りケア研修の受講経験による比較一』 神奈川県立保健福祉大学誌 21 巻 第 1 号, 31-44.
- 2) 橋本萌子, 高橋恭子, 大島憲子 (2023) 『特別養護老人ホームにおいて看取りをした家族の満足感に影響を及ぼした経験』 神奈川県立保健福祉大学誌 20 巻 第 1 号, 3-12.

3 その他の著作

- 1) 科学研究費補助金 (基盤研究C) 平成 30 年度～令和 5 年度「行動・心理症状 (BPSD) に対する症候対応型認知症ケア技術の開発」研究報告書 研究代表者 (大島憲子)、研究分担者 (池田学)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

【公的機関】

- 1) 神奈川県社会福祉審議会 委員 (2018.8～現在)
- 2) 民生委員審査専門分科会 分科会長 (2018.11～現在)
- 3) 神奈川県大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議会 委員 (2019.6～現在)
- 4) かながわ感動介護大賞実行委員会 委員 (2018.7～現在)
- 5) かながわ感動介護大賞選考委員会 座長 (2018.7～現在)
- 6) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会委員 (2015.9～現在)
- 7) 神奈川県在宅医療推進協議会委員 (2015.2～現在)
- 8) 神奈川県地域包括ケア会議委員 (2015.2～現在)
同、副委員長 (2015.4～現在)
- 9) 横須賀市介護保険運営協議会委員 (2014.9～現在)
横須賀市介護保険運営協議会副委員長 (2023.10～現在)
- 10) 神奈川県薬事審議会 委員 (2021.6～現在)

【学会】

- 11) 日本認知症ケア学会 評議員 (現, 代議員) (2006～現在)
- 12) 「日本の認知症ケア学会誌」査読委員 (2006～現在)
- 13) 「認知症ケアジャーナル」査読委員 (2008～現在)
- 14) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員 (2006～現在)
- 15) 認知症ケア専門士試験問題作成委員 (2006～現在)

【民間団体】

- 16) 社会福祉法人 三育福祉会 第三者委員会 外部有識者委員 (2023.4.1～現在)
- 17) 日本介護福祉士養成施設協会
- 18) 介護福祉士養成大学連絡協議会 選挙管理委員長 (2024.01.～2024.03.31)

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス (2023.8.5-6)
- 2) ミニオープンキャンパス (2024.3.26)

6 講演, 放送

- 1) 令和5年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業「認知症施策のあり方に関する調査研究事業」懇談会における講演 「認知症地域支援推進員の役割の方向性」
令和6年2月22日(木) オンライン開催

7 学会等での活動

- 1) 第10回日本認知症ケア学会大会以降、毎年分科会において座長を務める(現在に至る)

8 学内教育活動

- 1) 介護技術演習Ⅳ(医療的ケア)・認知症ケア論・介護過程Ⅰ・Ⅱ・介護福祉論の視聴覚教材作成
- 2) 学生支援活動: 茶道サークル顧問
- 3) 大学院生指導: 指導教員として2名、指導補助教員として1名
- 4) 介護福祉士コース長

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会委員 (2019.4.1～2024.3.31)
- 2) 日本介護福祉士養成施設協会担当
- 3) 介護福祉士養成大学連絡協議会担当

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究C) 平成30年度～令和5年度「行動・心理症状(BPSD)に対する症候対応型認知症ケア技術の開発」 研究代表者(大島憲子)、研究分担者(池田学) 研究経費: 4,160千円

11 学内研究助成金の受託

12 受賞

- 1) 令和6年度 神奈川県立保健福祉大学 学長表彰(令和6年3月19日)
受賞業績: 介護福祉士養成における丁寧で粘り強い教育の遂行

13 特許など

14 その他

川村 隆彦（大学院保健福祉学研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 川村隆彦 相談援助を深めるプロフェッショナルの教え—理想と現実 月刊ケアマネジャー 2023年4月号 中央法規出版
- 2) 川村隆彦 相談援助を深めるプロフェッショナルの教え—Life History 月刊ケアマネジャー 2023年5月号 中央法規出版
- 3) 川村隆彦 相談援助を深めるプロフェッショナルの教え—理論とアプローチ 月刊ケアマネジャー 2023年6月号 中央法規出版

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員（2006.1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員（2013.10～）

5 社会貢献

- 1) 以下の地域等の専門職への研修、スキルトレーニングを行った。初台リハビリテーション病院（9月、10月）、聖隷福祉事業団（9月）、東京都保健福祉財団（地域包括支援センター職員対象／10月）、横須賀市福祉職（12月）、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会（12月）、島根県安芸市ケアアマネジメント協会（2月）、沖縄県社会福祉士会（2月）

2) 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワークⅠ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ」「人間関係とコミュニケーションⅡ」「卒業論文」大学院「ソーシャルワーク特論Ⅰ」を担当した。また実習指導者講習会でスーパービジョン論を担当した。

2) 社会福祉学科、実習責任者

9 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員（2023.4～）

岸川 学 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.

3 その他の著作

- 1) 岸川学. (2023). 発達障害のある子どもの理解と対応ー社会の中でより良く生きるためにー. 令和 5 年度川崎市青少年指導員研修会報告書, 川崎市青少年指導員連絡協議会企画委員会.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問 委員. 2011.5～
- 2) 全国アダプテッドエアロビック専門部会医科学委員会 委員. 2011.5～
- 3) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員長. 2011.8～
- 4) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会 委員. 2012.9～
- 5) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者自立支援協議会 会長. 2016.4～
- 6) 社会福祉法人みなと舎 評議員. 2017.6～
- 7) 横須賀学院高等学校科学教育センター 運営指導委員. 2018.4～
- 8) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」 運営委員. 2018.12～
- 9) 神奈川県発達障害サポートネットワーク推進協議会 部会長. 2019.12～
- 10) 日本キリスト教社会福祉学会 理事. 2021.6～
- 11) 横須賀市福祉援護センターのあり方に関する懇話会 座長. 2021.7～
- 12) 横須賀市障害とくらしの支援協議会 副会長. 2022.4～
- 13) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議 座長. 2022.4～
- 14) 横須賀市障害とくらしの支援協議会地域生活支援拠点等部会 部会長. 2022.4～
- 15) 三浦市障害者自立支援協議会 座長. 2022.4～
- 16) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会 座長. 2022.4～
- 17) 社会福祉法人横須賀たんぼぼの郷 第三者委員. 2022.4～
- 18) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会 委員. 2022.4～
- 19) 横須賀市立浦賀小学校学校運営協議会 副委員長. 2022.4～
- 20) 第 50 回日本職業リハビリテーション学科実行委員会 委員. 2022.10～2023.8
- 21) ヒューマンサービス学会 理事. 2023.3～
- 22) 海老名市障がい者福祉計画 (第 7 期) 策定懇談会委員 座長. 2024.4～
- 23) えびな成年後見・総合相談センター受任調整会議 委員. 2024.4～
- 24) 社会福祉法人麦の里 理事. 2024.4～
- 25) 横須賀市療育相談センター指定管理者審査委員会 委員. 2024.4～
- 26) 三浦市地域福祉計画推進懇談会 委員. 2023.4～

27) ヒューマンサービス学会第1回学術集会実行委員会 委員. 2023.3～

5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人いちょうの里みずほ学園・自閉症者支援のコンサルテーション. 2011.12～
- 2) 社会福祉法人横須賀基督教社会館・自閉症児支援のコンサルテーション. 2017.12～
- 3) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」の運営. 2018.12～
- 4) 社会福祉法人海風会における自閉症者支援のコンサルテーション. 2020.10～
- 5) 神奈川県ソーシャルワーク視点の教員養成研修の企画・運営. 2021.4～
- 6) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会地域福祉活動支援事業（協働モデル事業）アドバイザー. 2021.5～
- 7) 横須賀市障害者基幹相談支援センター専門的コンサルテーション. 2021.10～
- 8) 神奈川県社会福祉協議会重層的支援体制整備事業アドバイザー派遣のアドバイザー. 2022.4.1～
- 9) 横須賀市立総合高校における社会福祉学科の説明. 2023.6.22
- 10) 神奈川県立霧が丘高校における模擬授業の実施. 2023.6.29
- 11) 神奈川県自閉症協会主催「第24回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」トレーナー. 2023.7.29～8.2
- 12) 横須賀学院高等学校高大連携セミナーにおける高校生向け授業の実施. 2023.11.13
- 13) 神奈川県立保土ヶ谷高校における出張講座の実施. 2024.3.14
- 14) 神奈川県立保健福祉大学ミニオープンキャンパスにおける学科説明, 個別相談対応. 2024.3.26

6 講演, 放送

- 1) 講演:「ストレングスに着目したアセスメントの視点について」, 神奈川県社会福祉協議会サービス管理責任者等資質向上研修. 2023.7.6, 2023.7.12
- 2) 講演:「評価と自立課題」, 神奈川県自閉症協会第24回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー. 2023.7.29
- 3) 講演:「支援とは何か」「専門性とは何か」「良い支援者を目指して」, 令和4年度新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会, 神奈川県・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会. 2023.8.16, 2023.11.16, 2023.12.1
- 4) 講演:「地域で暮らすー働く・住む・支えるー」, 神奈川県立武山支援学校たけやまタウンミーティング. 2023.8.28
- 5) 講演:「地域で支えるひきこもり支援ー支援者が感じる困難と向き合うー」, 秦野市ひきこもり支援者研修会. 2023.9.6
- 6) 講演:「自閉症の人への理解と関わり方ー上手につきあう方法ー」, 横須賀三浦地区自閉症協会. 2023.9.7
- 7) 講演:「障害者福祉論」, 全国社会福祉協議会ロフオス湘南. 2023.9.14, 2023.11.15, 2024.2.12
- 8) 講演:「自閉症の人への理解と関わり方」, さがみのホーム. 2023.9.28
- 9) 講演:「子どもと保護者を共に支援する仕組みづくり」, 横須賀市教育委員会支援教育研修講座⑤. 2023.10.11

- 10) 講演：「地域共生社会と多様性の尊重」，ゆめクラブ大学．2023.10.12
- 11) 講演：「地域づくりと参加支援-支援を必要とする人を中心に-」，厚木市多機関協働による相談支援強化事業研修．2023.11.6
- 12) 講演：「利用者の生活支援を地域や多機関と共に考える」令和5年度ウィリング横浜主催研修 地域力を高めるNo.2．2023.11.17
- 13) 講演：「困難な事例に対する支援の視点-「支援困難」を紐解く-」，令和5年度神奈川県発達障害者支援センター支援者向け研修②．2023.11.22
- 14) 講演：「発達障害のある子どもの理解と対応-社会の中でより良く生きるために-」，令和5年度川崎市青少年指導員研修会．2023.12.10
- 15) 講演：「重層的支援体制整備事業における多機関協働-複合的な課題がある世帯への関り方を考えるII-」，厚木市多機関協働による相談支援強化事業研修．2023.12.15
- 16) 講演：「その人らしさを大切に-幸せな時間を増やそう-」，令和5年度三浦しらとり園研修．2024.1.19
- 17) 講演：「強度行動障害の理解」「困っているの体験」，社会福祉法人光友会主催令和5年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）．2024.1.25
- 18) 講演：「地域共生社会と多様性の尊重」，みらいふる鎌倉．2024.2.5
- 19) 講演：「発達障害のある人への理解と対応-社会の中でより良く生きるために-」，令和5年度人権啓発講座「暮らしの中の人権を考える」，横須賀市教育委員会．2024.2.6
- 20) 講演：「地域共生社会と多様性の尊重」，はまゆうクラブ横須賀．2024.2.7
- 21) 講演：「障害のある人への人権擁護と虐待防止-支援とは何かを考える-」，令和5年度海老名市相談支援専門員研修会．2024.2.8
- 22) 講演：「重層的支援体制整備事業って何だろう」，一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構令和5年度社団研修会．2024.2.10
- 23) 講演：「良い支援者を目指して」，平塚市わかてカイ研修会．2024.2.15
- 24) 講演：「障害のある人への人権擁護と虐待防止-支援とは何かを考える-」，社会福祉法人湘南の風虐待防止研修．2024.2.15
- 25) 講演：「障害とは何か-発達障害がある人の特徴と関わり方-」，大津地区社協障害支援部門研修会．2024.2.17
- 26) 講演：「地域の仲間で作る人材育成ネットワーク」，Autism Caravans あちこちセミナー in 東京．2024.2.25

7 学会等での活動

- 1) 渡邊恵，長島俊輔，玉川淳，志村 華絵，加藤木 真史，佐々木杏子，森朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川学，高橋恭子，水戸優子．(2023年11月5日)．多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ．第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16)，神奈川県．

8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部において保健医療福祉論Ⅰ，ソーシャルワークⅢ，ソーシャルワーク演習Ⅰ，ソーシャルワーク演習Ⅱ，ソーシャルワーク演習Ⅲ，ソーシャルワーク実習，ソーシ

ャルワーク実習指導Ⅰ，ソーシャルワーク実習Ⅰ，社会福祉基礎演習Ⅱ，ソーシャルワークの基盤と専門職（専門），形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援（2回）」を担当。

- 2) ボランティアセンター，H.S.C（ほっとするクラブ），サマースクール実行委員会，UDKS（浦賀団地活性化サークル），卓球サークル，剣道サークル，顧問。
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「相談援助の理論と方法」を担当。2023.12

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉士国家試験対策講座担当。2021.4～
- 2) 進路支援担当ワーキンググループ 委員。2022.4～
- 3) ヒューマンサービスセンター地域貢献部門 部門長。2023.4～
- 4) ヒューマンサービスパーチ 委員。2023.4～
- 5) 学内実習ステーション会議 委員。2023.1～

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈（研究代表者），岸川学，池田公平，長島俊輔，田中和美，樋口良子，福岡梨紗，渡邊恵，末田千恵。地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入。研究助成 A，430,240 円，2023.5.23～2024.3.31。

吉中 季子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 全国社会福祉協議会『社会福祉学習双書 第6巻 社会保障』（改訂第3版）2024年2月28日、第10章「社会福祉制度の概要」pp.270-303

2 学術論文

- 1) 吉中季子「ジェンダーからみるひとり親世帯：母子世帯の貧困と固定化」2023年4月『労働調査』（労働調査協議会）2023年4月号 pp.21-26
- 2) 吉中季子「日本における女性の居住支援と生活困窮者支援『Inclusive City（インクルーシブシティ）』（包摂都市ネットワーク・ジャパン・インクルーシブシティ研究会（ICN-Japan））Vol.3 2024

3 その他の著作

- 1) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編『社会福祉士国家試験過去問解説集 2024』（執筆者多数につき省略）2023年5月1日、中央法規出版、（全602頁）、

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 独立行政法人 日本学術振興会
特別研究員等審査会専門委員・卓越研究員候補者選考委員会書面審査員及び
国際事業委員会穂面審査員・書面評価員
- 2) 厚生労働省社会・援護局 令和5年度「困難な問題を抱える女性への支援の在り方等に関する調査研究事業」評価検討委員
- 3) 厚生労働省社会・援護局 令和6年度「困難な問題を抱える女性の支援に関するプラットフォーム構築事業」評価検討委員
- 4) 日本社会福祉学会 機関誌『社会福祉学』等査読委員
- 5) 社会政策学会 社会的排除/包摂部会運営委員
- 6) 貧困研究会（学会） 運営委員会委員
事務局委員
広報委員
- 7) 日本がん看護学会 倫理委員会委員（外部委員・文化社会科学系）
- 8) 神奈川県 ホームレス自立支援計画策定会議 座長
- 9) 神奈川県 かながわ子ども支援会議 副委員長
- 10) 三浦市男女共同参画懇談会 座長（神奈川県三浦市）
- 11) 鎌倉市国民健康保険運営協議会委員（神奈川県鎌倉市）
- 12) 特定非営利活動法人女性サポート Asyl（あじーる）（生活困窮者支援）理事長
- 13) 特定非営利活動法人よこすかひとり親サポートひまわり（ひとり親・子ども・若者支援）
副理事長
- 14) 神奈川県自治体問題研究所理事
- 15) 社会福祉法人神奈川県民生福祉協会神奈川県女性保護施設さつき寮評議員

16) 公益社団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団 評議員

5 社会貢献

- 1) 愛知県 令和 5 年度市町村等人権啓発指導者研修会
テーマ：女性の貧困と見えない暴力 於：ZOOM
- 2) Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成選考審査委員（2018 年 7 月～現在）
- 3) 神奈川県教育委員会教育局支援部主催、ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修テーマ「子どもの貧困とは—子どもの貧困を問い直す」2023 年 8 月 4 日

7 学会等での活動

- 1) Toshiko YOSHINAKA. ‘Current situation and challenges in supporting women in need in Japan’（日本女性的居住支援與生活困窮者の支援）2023 年 8 月 16（Wed）-08（Fri）The 12th East-Asian Inclusive Cities Network Workshop（東アジア包摂都市ネットワークワークショップ Taipei），東呉大學（台北、台湾）Invitation.
- 2) 吉中季子「生活困窮の観点—女性支援の実態から—」単 2024 年 3 月 9 日 北海道社会福祉学会（日本社会福祉学会北海道ブロック）研究大会，於：北星学園大学（ハイブリッド開催）
- 3) 吉中季子「女性の一時生活支援事業利用者の現状と課題—退所後調査から—」2023 年 11 月 10 日 11 月 5 日 貧困研究会 第 16 回研究大会，於：札幌学院大学／新札幌キャンパス
- 4) 田中琴音・吉中季子「幼児給食は 1 日の栄養バランス向上に役立つのか」2023 年 11 月 5 日、貧困研究会 第 16 回研究大会，於：札幌学院大学／新札幌キャンパス
- 5) 吉中季子「女性と生活困窮者支援—包括的な支援と連携を考える—」2023 年 11 月 12 日 第 10 回生活困窮者自立支援全国研究交流大会、於：北星学園大学

8 学内教育活動

- 1) 学部授業科目：公的扶助論、社会福祉の原理と政策、ソーシャルワーク実習指導、人権とジェンダー（オムニバス担当）、専門演習 I・II、卒業研究
- 2) 実践教育センター科目：社会福祉学（介護コース科目）6 コマ（12 時間）担当
- 3) 大学院授業科目：低所得者福祉特論
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会
- 2) 公立大学協会・社会福祉学系部会担当（社会福祉学系部会の資料作成をとりまとめ・会議参加）
- 3) ソーシャルワーク教育連盟担当
- 4) 神奈川県ソーシャルワーク教育連盟担当
- 5) 20 周年事業企画ワーキンググループメンバー

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) (研究代表) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 22K01979「女性のライフステージにおける公的年金制度加入と貧困の研究」(2022-2024 年度研究代表者吉中季子(神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・准教授))
- 2) (研究代表) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 18K02152「単身女性の公的年金制度と貧困に関する研究」2018-2022 年度(研究代表者神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・准教授・吉中季子)
- 3) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 20K02264「日本における皆年金体制確立に関する歴史及び財政の検証」2020-2023 年度(研究代表者日本女子大学・教育福祉学部・准教授・中尾友紀)
- 4) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号 20H04446「世帯内に隠れた貧困の実証的把握: 貧困研究の方法の再検討」2020-2023 年度(研究代表者北海道大学大学院・教育学研究院・准教授・鳥山まどか)
- 5) (研究分担) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)21H04404「子ども・子育て家族の貧困と政策・実践: 「包括的最低限保障」の構想のために」2021-2025 年度(研究代表者北海道大学・教育学研究院・教授・松本伊智朗)
- 6) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号課題番号 21H00796「日本に住む外国人に対する金融包摂の方策」2021-2024 年度研究代表者(明治大学・経営学部・教授小関隆志)

14 その他

- 1) 週刊『女性自身』(光文社)特集記事「「離婚妻」半数が老後破産危機!」pp.51-53. (4月2日号(2024年3月19日発行)第67号第10号、コメント掲載。

種田 綾乃（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 種田綾乃(2024).障害福祉領域に対する学生の意識について—大学生への職業選択に関するインタビューをもとに—. さぼと, (804), 17-20.
- 2) 池田朋広・石川亜弓・種田綾乃 (2023). コミュニティベースの精神保健福祉を目指す「併存性障害のための統合治療 (Integrated Treatment for Co-Occurring Disorders ;ITCOD)」の実装のために何ができるのか?—アディクションと精神疾患を合併した精神障害者を支援するために—. 精神科治療学「アディクションとその周辺」, (38)増刊号, 17-20.vol.38 増刊号.

3 その他の著作

- 1) 的場律子, 大塚直子, 熊取谷晶, 種田綾乃, 伊井統章, 澤野文彦, 浅沼充志, 瀬戸口祐貴, 木太直人, 緒方多佳士.(2023).令和4年度厚生労働科学研究費補助金(障害者総合福祉推進事業)「改正精神保健福祉法施行後の退院促進措置の有効な実施に関する運用ガイド等の作成」報告書.
- 2) 公益財団法人日本精神保健福祉士協会発行の「退院後生活環境相談員のための退院促進措置運用ガイドライン」の「退院後生活環境相談員として大切な視点」の執筆を担当.
- 3) 日本精神保健学会発行の「精神保健福祉学基本用語集」にて「ひきこもり地域支援センター」の執筆を担当.
- 4) 池田朋広・石川亜弓監訳『併存性障害(重複障害)のための統合治療(2023年10月1日)』の翻訳を担当.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 (2020年4月～現在)
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者 (2017年10月～現在)
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 (2018年7月～現在)・学会ロゴマークプロジェクト (2022年7月～2023年11月)・野中賞選考委員 (2021年4月～現在)
- 4) 秦野市教育委員会・教育研究所 専門相談員(スクールソーシャルワーカー)・第三者委員 (2018年4月～現在)
- 5) 平塚保健福祉事務所秦野センター 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 アドバイザー (2019年10月～現在)
- 6) 秦野市いじめ問題対策調査委員会 委員 (2021年4月～現在)
- 7) おかやまUFE 理事 (2021年12月～現在)
- 8) 葉山町障害者福祉計画策定委員会 委員長 (2023年4月～2024年3月)
- 9) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 神奈川支部 運営委員 (2023年4月～現在)
- 10) 神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部 社会的養育推進計画改定に係る自立支援ワーキンググループ 委員 (2024年1月～現在)

5 社会貢献

- 1) 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」 アドバイザー (2019年4月～現在)
- 2) 秦野子ども支援プロジェクト「ゆう」 会員 (2017年4月～現在)
- 3) ピアサポート文化を広める研究会 委員 (2017年9月～2024年1月)
- 4) オープンキャンパス、ミニオープンキャンパスの当日運営、高校生向け大学説明会の模擬授業を担当

6 講演、放送

- 1) コミュニティメンタルヘルスケア研究会主催の学習会で「ピアスタッフとともに行う共同意思決定支援 (SDM) の実践」についての講義を担当した, 群馬, 2023年5月20日.
- 2) 神奈川県立保健福祉大学・実践教育センター共催の「令和4年度実習指導者養成教育 (社会福祉士実習指導者講習会)」にて、「実習スーパービジョン論 (演習)」の講師を務めた, 神奈川, 2023年6月24日.
- 3) 神奈川県教育委員会主催の「ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修講座」にて、「ソーシャルワーク演習」の講師を務めた, 神奈川, 2023年8月10日.
- 4) 精神障害と物質使用障害を併せ持つ者への日本版統合治療支援ツールの開発と普及 等中間報告会にて、「精神障害と物質使用障害を併存する者をめぐる支援の現状～支援者へのグループインタビュー調査をもとに～」に関する報告を行った. 東京, 2023年8月27日.
- 5) 千葉県障害福祉事業課主催の「令和3年度千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研修」にて、「ピアサポートの理解」「ピアサポートの実際・実例」「ピアサポートを活用する技術としくみ」についての講義を担当した, 千葉, 2023年10月14日・11月4日.
- 6) 横浜ピアスタッフ協会主催の「ピアマスター」の講座において、「地域におけるピアの役目とは」に関する講話を行った, 神奈川, 2024年3月20日.
- 7) 秦野市地域活動支援センターぱれっと・はだの主催の「秦野市ピア学習会」の連続講座の企画および講師・ファシリテーターを務めた, 神奈川, 2023年9月6日・10月24日・11月28日・2024年2月24日.
- 8) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会「退院後生活環境相談員実践力アップ研修」のファシリテーターを務めた, 兵庫 (2023年12月19日)・東京 (2024年1月28日).

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：人間関係とコミュニケーションⅠ、社会福祉基礎演習Ⅰ、ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークⅡ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 2) ソーシャルワーク実習報告会の運営、社会福祉士実習指導者講習会の企画・運営等
- 3) 大学院修士課程の学生の指導補助教員

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 委員 (自己評価専門部会 委員兼任)
- 2) 動物実験専門部会 委員

- 3) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 窓口担当
- 4) オープンキャンパス・ミニオープンキャンパス委員
- 5) 学科オリエンテーション委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 池田朋広, 松本俊彦, 大口達也, 上原徹, 種田綾乃. 精神障害と物質使用障害を併せ持つ者への日本版統合治療支援ツールの開発と普及, 日本学術振興会科学研究費助成 基盤研究 C, 2021 年 4 月～2024 年 3 月. (研究分担者)
- 2) 障害者ピアサポート研修事業における障害当事者の参画の実態把握及び方策についての調査研究, 厚生労働省科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業, 2021 年 4 月～2023 年 3 月. (研究協力者)
- 3) 相川章子, 濱田由紀, 荒井浩道, 種田綾乃, 横山和樹. ピアスタッフの固有性および価値に関する探索的研究, 日本学術振興会科学研究費助成 基盤研究 C, 2021 年 4 月～2024 年 3 月. (研究協力者)
- 4) 的場律子, 大塚直子, 熊取谷晶, 種田綾乃, 伊井統章, 澤野文彦, 浅沼充志, 瀬戸口祐貴, 木太直人, 緒方多佳士.(2023)改正精神保健福祉法施行後の退院促進措置の有効な実施に関する運用ガイドの作成. 厚生労働省科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業, 2023 年 4 月～2024 年 3 月. (研究協力者)

寺田 誠

1 著書

- 1) 寺田誠 (2024)「第 11 章 社会手当制度の概要」社会福祉学習双書編集委員会編『社会福祉学習双書 2024 第 6 巻 社会保障』全国社会福祉協議会, 285-302.

3 その他の著作

- 1) 寺田誠 (2023)「要保障性の制度化プロセスにおける措置制度と介護保険制度—個人の利益と社会の利益の視点から」『東洋大学社会福祉研究』16, 36-39.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 社会福祉法人かながわ共同会監事 2023 年 6 月～現在

5 社会貢献

- 1) 厚木東高等学校での出前講座を担当 (タイトル: 社会福祉学科で学ぼう!), 2023 年 6 月 28 日
- 2) 神奈川県立総合教育センター主催「ソーシャルワーカーの視点を持った教員の養成研修講座」での講義を担当 (タイトル: 社会保障給付をめぐる考え方と具体的な支援の重なり), 2023 年 8 月 4 日
- 3) 東洋大学福祉社会開発研究センター客員研究員 2023 年 4 月～現在
- 4) 目白大学人間学部人間福祉学科非常勤講師 (社会福祉の原理と政策論 I、社会福祉の原理と政策 II を担当) 2023 年 9 月～2024 年 3 月
- 5) 上智大学総合人間科学部社会福祉学科非常勤講師 (社会福祉演習 II を担当) 2023 年 9 月～2024 年 3 月

6 講演, 放送

- 1) 社会福祉学科内研究会での研究報告を担当 (タイトル: 「措置から契約へ」をどう再検討するか—議論の組み立てと視点を中心に), 2024 年 2 月 21 日
- 2) 東洋大学福祉社会開発研究センター理論研究グループでの研究報告を担当 (タイトル: 近年の政策動向をめぐるキーワードと社会的ニーズ—相互承認とのかかわりで研究課題の設定に向けて), 2024 年 3 月 4 日

8 学内教育活動

- 1) 学部: 社会保障 (通年)、権利擁護を支える法制度 (後期)、社会福祉基礎演習 II (前期)、ソーシャルワーク実習 I (後期)、ソーシャルワーク実習指導 I (後期)、ソーシャルワーク実習 II (通年)、ソーシャルワーク実習指導 II (通年)、ヒューマンサービス総合演習 (後期) の一部を担当
- 2) 大学院: 社会保障特論の一部、ヒューマンサービス特論・演習の一部を担当
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座の一部を担当 (社会保障、権利擁護を支える法制度), 2023 年 12 月 11 日

9 学内各種委員会活動

- 1) 新年度学科別オリエンテーション担当（通年）
- 2) オープンキャンパス及びミニオープンキャンパス担当（通年）
- 3) 国家試験対策講座担当（通年）
- 4) ヒューマンサービスセンター国際協働部門委員（通年）
- 5) 新入生チューター（通年）

井上 夏子

3 その他の著作

1) 【報告】

稲垣佳代・井上夏子 (2023) 「ソーシャルワーカーの仲間づくりや人材育成のコンピテンシーに関する研究—精神障害者の地域移行支援に着目して—」, 『高知県立大学紀要 社会福祉学部編』, 第 73 巻, p.69-83.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会 委員 (2022 年 4 月より委員長) (2021 年 8 月～現在)
- 2) 横須賀市障害区分等認定審査会 審査委員 (2019 年 4 月～現在)

5 社会貢献

- 1) 立川マック (東京都立川市) 職員研修講師 (2021 年 11 月～現在)
- 2) 神奈川県青少年センター 研修講師 (2022 年 3 月～現在)
- 3) JHC 板橋会 研修講師 (2023 年 3 月～現在)
- 4) 神奈川県社会福祉協議会 研修講師 (2023 年 4 月～現在)

7 学会等での活動

- 1) 日本社会福祉学会、日本社会精神医学会、日本精神保健福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本精神保健福祉士協会、神奈川県精神保健福祉士協会の会員として、研究活動等に従事した。

8 学内教育活動

- 1) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉制度論」「精神福祉援助技術総論」を担当した。
- 2) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉援助実習」「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ」及び「精神保健福祉援助演習」「精神保健福祉援助技術演習」を担当した。
- 3) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の国家試験対策を担当した。
- 4) 社会福祉学科 2 年次の「社会福祉基礎演習Ⅱ」のクラス担当として、指導にあたった。
- 5) 精神保健福祉士課程の学生の学習上の相談に応じ、指導を行った。
- 6) 精神保健福祉援助実習における実習機関の指導者と連携し、巡回や電話相談などの機会をもって、学生の円滑な実習の実施に努めた。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会の委員として活動に取り組んだ。
- 2) オープンキャンパスの学科担当教員として、企画・運営、協力学生のサポートに取り組んだ。
- 3) 卒業・修了式、入学式実行委員として、活動に取り組んだ。

11 学内研究助成金の受託

- 1) 「研究助成 B (奨励研究)」を受託し、「ソーシャルワーク理論の系譜における『専門的援助関係』の捉え方ー我が国の精神保健福祉領域への影響ー」を課題とした研究活動に従事した。

打越 友実

7 学会等での活動

- 1) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—Dual relationship に関する文献に着目して—. 日本社会福祉学会第 71 回秋季大会, 武蔵野大学, 2023 年 10 月 14 日.
- 2) 打越友実, 小林理, 新保幸男: ソーシャルワークの「最善の利益」と「beneficence」についての一考察. 2023 年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023 年 3 月 17 日.
- 3) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑫—Borrmann (2005)の分析—. 福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集, 4 - 12, 2023 年 4 月 10 日.
- 4) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑬—Dolgoft et al. (2012)の EPS とその事例—. 福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集, 3 - 9, 2023 年 4 月 24 日.
- 5) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑭—Dolgoft et al. (2012)における自己決定概念の記述への一考察—. 福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集, 14 - 19, 2023 年 5 月 8 日.
- 6) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑮—Mayer(2005)の分析—. 福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集, 4 - 11, 2023 年 5 月 29 日.
- 7) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集, 7 - 8, 2023 年 6 月 12 日.
- 8) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを扱う際に生じる自己決定概念への認識に関する検討—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集, 8 - 22, 2023 年 6 月 26 日.
- 9) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践における自己決定概念の検討—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集, 4 - 19, 2023 年 7 月 10 日.
- 10) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践における自己決定概念の検討②—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集, 4 - 19, 2023 年 7 月 24 日.
- 11) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑯—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集, 4 - 35, 2023 年 8 月 14 日.
- 12) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑰—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集, 4 - 36, 2023 年 8 月 28 日.
- 13) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑱—Dual relationship に関する文献に着目して—. 福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集, 4 - 36, 2023 年 9 月 11 日.
- 14) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑲—IJSWVE の研

- 究動向の概観一. 福祉学研究会第 56 回学術集会要旨集, 3 - 8, 2023 年 9 月 24 日.
- 15) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑩—研究計画の全体像と進捗の報告—. 福祉学研究会第 57 回学術集会要旨集, 3-44, 2023 年 10 月 9 日.
 - 16) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑪—研究計画の全体像と進捗の報告—. 福祉学研究会第 58 回学術集会要旨集, 11-44, 2023 年 10 月 23 日.
 - 17) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 59 回学術集会要旨集, 8-17, 2023 年 11 月 13 日.
 - 18) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究②—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 60 回学術集会要旨集, 8-17, 2023 年 11 月 27 日.
 - 19) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究③—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 61 回学術集会要旨集, 20-29, 2023 年 12 月 11 日.
 - 20) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究④—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 62 回学術集会要旨集, 5-12, 2023 年 12 月 25 日.
 - 21) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究⑤—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 福祉学研究会第 63 回学術集会要旨集, 12-25, 2024 年 1 月 8 日.
 - 22) 打越友実 (2023). 保健・医療・福祉分野における「最善の利益」と「自己決定」—生命医学倫理の 4 原則を中心として—. 福祉学研究会第 64 回学術集会要旨集, 7-11, 2024 年 1 月 22 日.
 - 23) 打越友実 (2023). ソーシャルワークの「最善の利益」と「beneficence」についての一考察. 福祉学研究会第 65 回学術集会要旨集, 15, 2024 年 2 月 12 日.
 - 24) 打越友実 (2023). 倫理的ジレンマを伴うソーシャルワーク実践におけるクライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重に関する研究—IJSWVE 文献の計量テキスト分析を通して—. 社会福祉学科研究会, 2024 年 2 月 21 日.
 - 25) 打越友実 (2023). 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴—クライアントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心として—. 福祉学研究会第 66 回学術集会要旨集, 7-14, 2024 年 2 月 26 日.
 - 26)

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 社会福祉基礎演習 I (分担), ソーシャルワーク実習指導 I・II (分担), ヒューマンサービス総合演習 (補助), ソーシャルワークの基盤と専門職 (ゲストとして分担, 2023 年 12 月 15 日, 12 月 22 日).
- 2) ソーシャルワーク実習 I・II 実習指導者懇談会・ソーシャルワーク実習 II 報告会の運営, 社会福祉士実習指導者講習会の運営.

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの企画・当日運営.
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当.
- 3) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)における面接会場への誘導業務(2023年11月23日, 2024年2月25日, 3月12日).
- 4) 大学入学共通テスト試験の試験官業務(2024年1月13日).
- 5) 社会福祉学科 SNS 担当. 社会福祉学科動画作成広報チームメンバー.

松田 愛美

2 学術論文

- 1) 松田愛美, (2024), 介護職の就労継続に向けた組織市民行動の影響—看護師との比較から—, 神奈川県立保健福祉大学誌、21(1), 101 - 109.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 第 1 回学術集会実行委員実行委員(2023 年 9 月 1 日～2023 年 11 月 30 日)

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスの企画・責任者として, オープンキャンパスの企画・当日運営を行った, 2023 年 8 月 6 日・7 日.
- 2) 令和 4 年度・5 年度(第 17 回)横須賀市地域包括支援センター運営事業評価総評を執筆, 2023 年 12 月 1 日.
- 3) ミニオープンキャンパスの企画・責任者として, 企画・当日運営を行った, 2024 年 3 月 26 日.
- 4) 社会福祉法人ユーアイ 21 小規模多機能型居宅介護事業所太陽の家逸見倶楽部運営推進委員(通年).
- 5) 三浦市社会福祉協議会において, 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員(通年).
- 6) 大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員(通年).

7 学会等での活動

- 1) 2024 年 2 月 17 日, 第 29 回日本介護福祉教育学会大会において「疾患理解を促す教材研究—介護総合演習における利用者理解の統合化—」の研究発表.

9 学内各種委員会活動

- 1) 卒業・修了式, 入学式実行委員(通年).
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当 (通年).
- 3) 時間割編成ワーキンググループ (通年).
- 4) 学科共同研究室の責任者 (通年).
- 5) 介護福祉士養成校施設協会の運営委員会において神奈川県立保健福祉大学の代表として活動 (通年).

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 2023 年度聖隷クリストファー大学共同研究費, 研究課題「介護福祉士指定科目における科目間連携と汎用性の高さに着目した映像教材の作成」研究分担者.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究) 課題名 「サーバントリーダーシップとユニット型特別養護老人ホームにおけるユニット内の働きやすさに影響を与える要因の研究」.